



奈良中心市街地公共交通総合連携計画 (案)

平成26年 月

奈良市

目次

1. はじめに.....	1
1.1 計画策定の目的.....	1
1.2 新連携計画策定の主旨.....	1
1.3 検討の経緯.....	2
1.4 計画対象区域.....	3
1.5 計画対象期間.....	3
1.6 計画の構成.....	4
2. 奈良中心市街地の現状と課題.....	5
2.1 奈良中心市街地の概況.....	5
2.1.1 地勢.....	5
2.1.2 施設の立地状況.....	6
2.1.3 自動車交通.....	8
2.1.4 市内の公共交通.....	13
2.2 観光交通.....	15
2.2.1 観光動態.....	15
2.2.2 中心市街地内周遊バス.....	18
2.2.3 観光バス.....	22
2.2.4 P&R.....	23
2.2.5 交通結節点.....	25
2.2.6 情報提供.....	28
2.3 日常交通.....	29
2.3.1 通勤・通学.....	29
2.3.2 自動車通勤と削減意向.....	31
2.3.3 鉄道交通.....	32
2.3.4 路線バス.....	33
2.4 関係上位計画.....	34
2.4.1 奈良市第4次総合計画.....	34
2.4.2 奈良県都市計画マスタープラン.....	34
2.4.3 奈良県交通基本戦略.....	35
2.4.4 奈良公園基本戦略.....	35
2.5 奈良中心市街地の交通課題.....	36
2.5.1 観光交通に関する課題.....	36
2.5.2 日常交通に関する課題.....	37

3. 基本理念および計画目標.....	38
3.1 基本理念.....	38
3.2 計画目標.....	38
4. 実施施策.....	42
4.1 施策体系.....	42
4.2 施策概要.....	43
5. 事業スケジュール.....	48
6. 推進体制.....	49
6.1 推進体系.....	49
6.2 事業推進に係る目標達成状況および施策効果検証の実施.....	50

1. はじめに

1.1 計画策定の目的

奈良中心市街地は、世界遺産「古都奈良の文化財」をはじめとする重要な史跡・文化財が数多く点在する地域です。年平均で約 1400 万人の観光客が存在し、2010 年の「平城遷都 1300 年祭」の際には、さらに多くの観光客が訪れました。その一方、観光を目的とした自動車交通の増加によって、奈良中心市街地における交通渋滞や環境悪化などの問題が深刻化しており、環境負荷の小さい交通体系の構築が求められています。

本計画は、これらの問題に対応するため、奈良中心市街地内での移動について、地域住民および公共交通事業者などの関係者が一体となり、総合的な検討を進めることにより、快適な公共交通環境を整え、公共交通を中心とした交通システムを構築し、地域の快適性向上と活性化を図るとともに、観光客の満足度向上と世界遺産など奈良の文化財や自然環境の保護を目指すものです。

1.2 新連携計画策定の主旨

平成 23 年 3 月に「奈良中心市街地公共交通総合連携計画（以降、前回計画）」を策定し、観光客および市民双方にとって移動しやすい公共交通の利用環境向上に向けて、多様な事業を実施してきました。

平成 25 年度には、事業実施とあわせて、「奈良中心市街地公共交通活性化協議会」の中で前回計画の効果検証を行い、新連携計画策定に向けて事業の効果を把握しました。

以下に示す内容を踏まえ、前回計画の期間終了に伴い、新たな連携計画を策定します。

①連携計画主要プロジェクトの実施

- ・計画に位置づけられた主要プロジェクトが概ね実施され、各目標およびモニタリング指標の達成状況を確認した上で、公共交通を取り巻く情勢の変化を踏まえ、新たな課題に取り組む必要があります。

②交通渋滞および環境悪化対策のさらなる推進

- ・世界遺産などの奈良の文化財や自然環境の保護に向けて、奈良中心市街地における観光交通および日常交通の状況を踏まえ、さらなる公共交通を中心とした交通システムを構築していく必要があります。
- ・奈良公園周辺の乗用車流入抑制方法の確立など、観光シーズンの渋滞緩和を推進する必要があります。

③持続可能な公共交通体系の構築

- ・地域ぐるみの利用促進、公共交通サービスの情報提供などに要する経費などについて、一定要件の下、国が補助できる地域協働推進事業費補助金が創設されたことを踏まえ、持続可能な公共交通体系の構築に向け、地域関係者が協働・連携しながら確保・維持に向けて取り組みを進める必要があります。

④上位・関連計画との整合性

- ・平成 22 年度、国が実施した交通実態調査（パーソントリップ調査）などの法定調査データが随時公表されていることや、奈良県交通基本戦略(H23.3)や奈良市第 4 次総合計画 基本構想・計画(H23.3)、奈良公園基本戦略(H24.2)が策定されており、上位・関連計画との整合を図る必要があります。
- ・奈良市第 4 次総合計画 基本構想・計画では、移動快適性・交通の質の向上、他の交通手段への乗換え容易性向上など、安全性の確保を目指すとしており、関連する取り組みを進めていく必要があります。

1.3 検討の経緯

平成23年3月の前回計画の策定後、平成24年8月には、モビリティ・マネジメントを実施施策に追加しました。また、「奈良中心市街地交通処理対策検討委員会」および「奈良中心市街地公共交通活性化協議会」において、施策の実施状況や目標値の達成状況について報告し、PDCAにより継続的に施策展開を実施しました。

表 1.1 検討の経緯（平成23年度以降）

年月日	委員会名	概要
平成23年3月		奈良中心市街地公共交通総合連携計画の策定
平成23年8月17日	第10回奈良中心市街地交通処理対策検討委員会	・GWの交通対策の結果について ・秋の交通対策(案)について
平成23年8月22日	第5回奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・奈良市地域公共交通活性化協議会準備会との合併について ・準備会の提言を受け、連携計画にモビリティ・マネジメントを位置づけ ・平成23年度の取り組み状況 ・平日交通対策について
平成24年1月19日	第6回奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・観光交通対策の取り組みについて ・平日交通対策について 平成24年度におけるモビリティマネジメントの実施方針
平成24年2月24日	第11回奈良中心市街地交通処理対策検討委員会	・奈良中心市街地の交通対策について
平成24年3月22日	第12回奈良中心市街地交通処理対策検討委員会	・奈良中心市街地の交通対策について ・奈良公園基本戦略 ・奈良県交通基本戦略
平成24年5月30日	第13回奈良中心市街地交通処理対策検討委員会	・奈良中心市街地の交通対策について
—	第7回奈良中心市街地公共交通活性化協議会(書面決議)	・奈良公園ぐるっとバス、中心市街地周遊バス、木筒型一日フリー乗車券、 ・平成23年秋の交通対策の結果と平成24年春のP&BR実施方針について
平成24年8月		奈良中心市街地公共交通総合連携計画の策定 ※日常交通対策の追加
平成24年8月1日	第14回奈良中心市街地交通処理対策検討委員会	・奈良中心市街地の交通対策について
平成24年8月10日	第8回奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・連携計画の変更について ・平成24年度春観光シーズンの実施事業と秋観光シーズンの実施予定事業について
平成24年11月5日	第15回奈良中心市街地交通処理対策検討委員会	・奈良中心市街地の交通対策について
平成25年2月8日	第16回奈良中心市街地交通処理対策検討委員会	・奈良中心市街地の交通対策について

1.4 計画対象区域

○ 本計画における対象区域は、奈良公園・平城宮跡・西ノ京などを含む奈良中心市街地（エリア1、エリア1.5、エリア2）とします。

〔エリア1：奈良公園周辺〕

- ・交通の流入を抑制し、エリア内の駐車場の需要調整やエリア内での観光客の回遊性を高めるなどの施策を実施すべきエリア。

〔エリア1.5：平城宮跡などの拠点整備状況を踏まえ、優先的に実施する地域〕

- ・当面の対策エリアとして、交通の流入を特に少なくするため、優先的に施策を実施すべきエリア。

〔エリア2：西ノ京～平城宮跡～奈良公園を含んだ地域〕

- ・交通の流入をできるだけ少なくするため、エリア周辺でのパーク＆ライド駐車場（バスライド、サイクルライドなど）の設置や周遊バスなど、移動の円滑性を確保するなどの施策を実施すべきエリア。

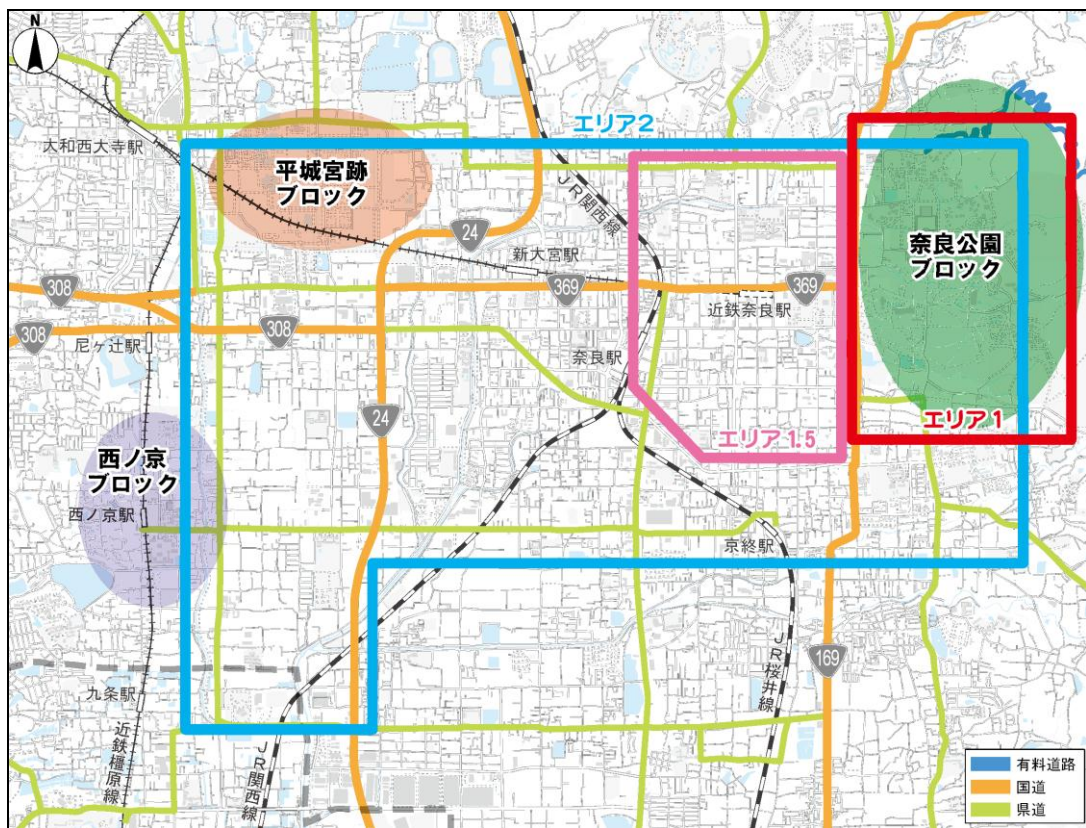


図 1.1 計画対象区域

1.5 計画対象期間

○ 本計画の対象期間は、平成 26 年度から平成 28 年度までの 3 ヶ年とします。

1.6 計画の構成

○ 本計画の構成は、奈良中心市街地の現状と課題を踏まえて、基本理念と計画目標を掲げ、実現に向けた実施施策、事業スケジュール、さらには推進体制について計画しています。

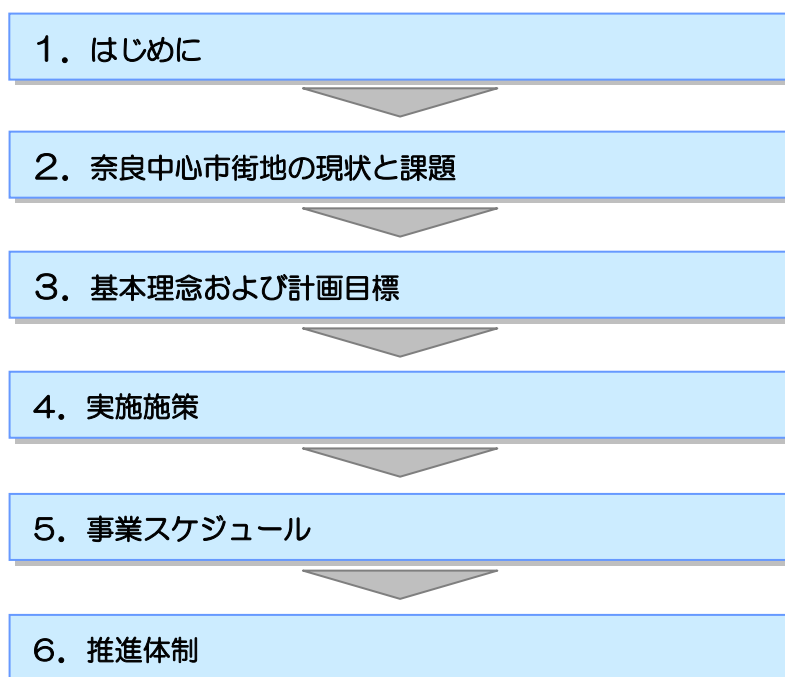


図 1.2 計画の構成

2. 奈良中心市街地の現状と課題

2.1 奈良中心市街地の概況

2.1.1 地勢

○ 奈良中心市街地は、周辺を山地に囲まれた盆地になっています。

奈良中心市街地は奈良市の西部に位置し、奈良公園・平城宮跡・西ノ京などを含む地域です。隣接する市町村は、北側に京都府木津川市、東側に山添村、南側に大和郡山市、西側に生駒市などが隣接しています。

奈良中心市街地周辺には、西側を西ノ京丘陵や矢田丘陵などの丘陵地、東側を若草山や春日山などの山地が広がっており、自然豊かな環境に恵まれた地域で、奈良盆地の北端に当たります。

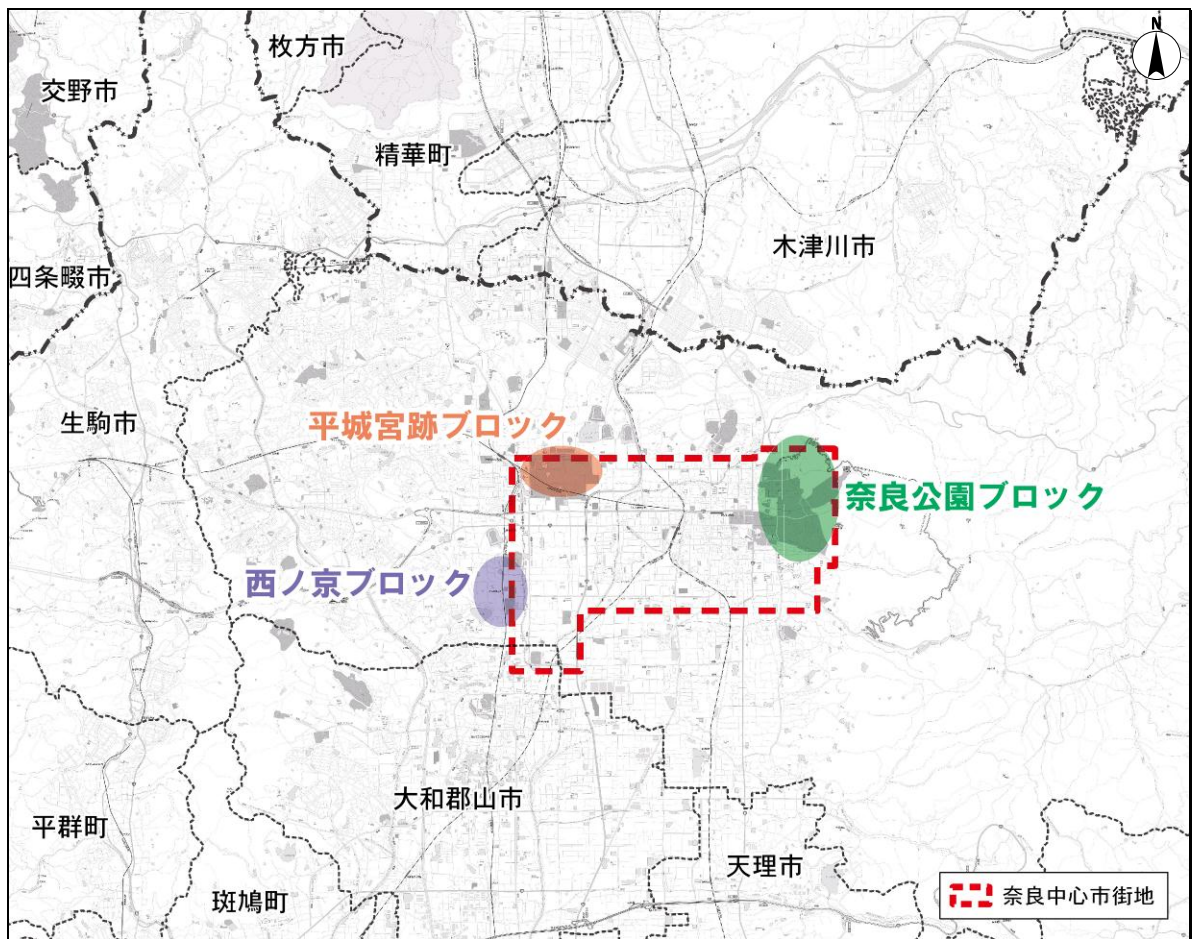


図 2.1 奈良中心市街地の位置

2.1.2 施設の立地状況

(1) 公共公益施設

○ 奈良中心市街地には、奈良県庁や奈良市役所などの主要な施設が集中しています。

奈良中心市街地には、奈良県庁や奈良市役所、高校や大学などの日常的に人が集中するような施設が立地しています。

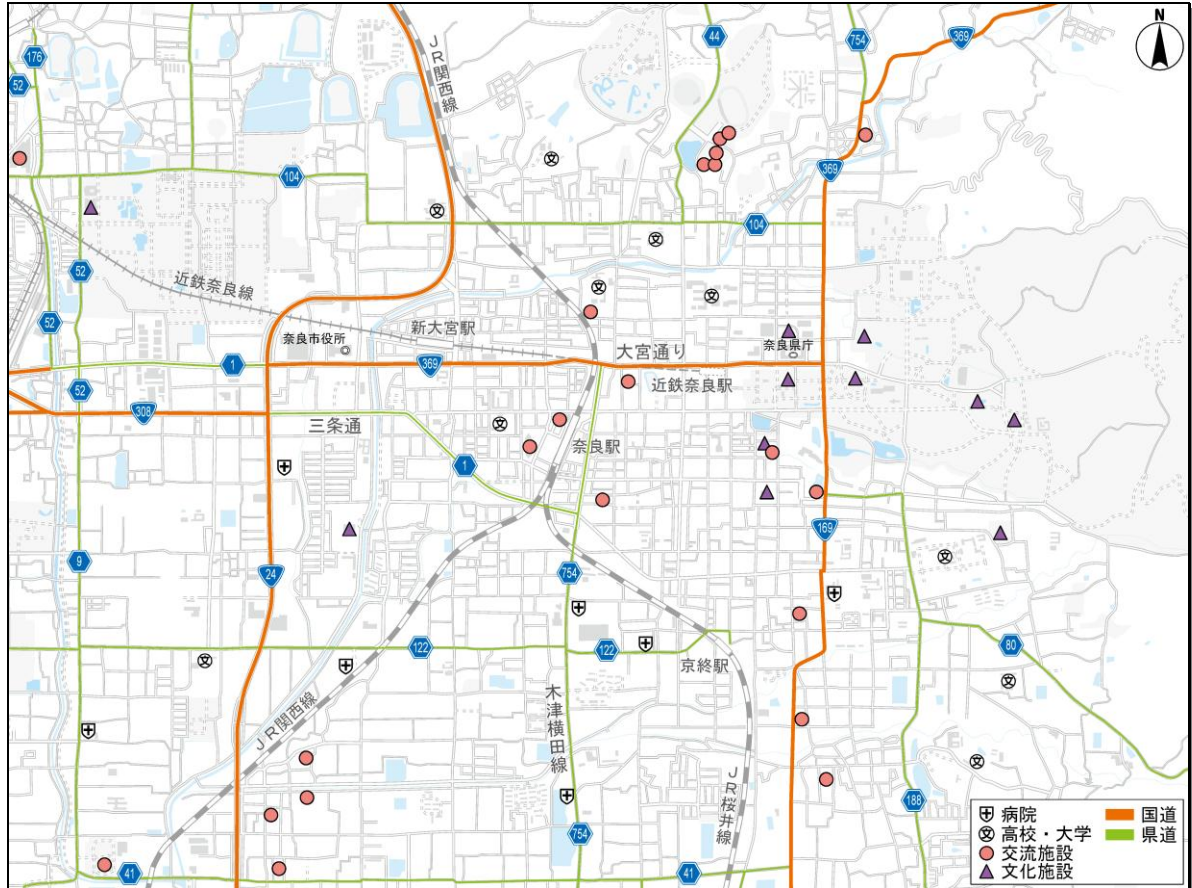


図 2.2 主要な施設立地状況

表 2.1 主要施設一覧

項目	施設名	項目	施設名	項目	施設名	項目	施設名
病院	石洲会病院	高校・大学	奈良県立高等学校	交流施設	なら100年会館	交流施設	東寺林連絡所
	西の京病院		市立一条高等学校		男女共同参画センター「あすなら」		青年の家交楽館
	済生会奈良病院		私立奈良育英高等学校		大安寺人権文化センター		中央武道場
	須基内科医院		奈良県立大学		南紀寺コミュニティスポーツ会館		中央体育館
	奈良東九条病院		奈良女子大学		古市人権文化センター		中央第二体育館
	春名病院		私立奈良女子高等学校		生涯学習センター		中央第二武道場
	市立奈良病院		奈良県立商業高等学校		鼓阪人権文化センター		佐保人権文化センター
			奈良教育大学		杏人権文化センター		あすか人権文化センター
	奈良県立高田高等学校	南部生涯スポーツセンター 体育館	みかさ人権文化センター				
	奈良佐保短期大学	辰市人権文化センター	市民サービスセンター				
		ならまちセンター	名勝大乗院庭園文化館				
				文化施設	元興寺総合収蔵庫		
					独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所・平城宮跡資料館		
					奈良県立図書情報館		
					春日大社 神苑・宝物殿		
					奈良市立中央図書館		
					寧楽美術館		
					奈良県立美術館		
					興福寺国宝館		
					奈良国立博物館		
					奈良県立奈良図書館		
					奈良市写真美術館		

※ホームページの категорияで、地方公共団体、文化施設に該当するもののみ記載

出典：公共施設まっぷホームページ

(2) 観光施設

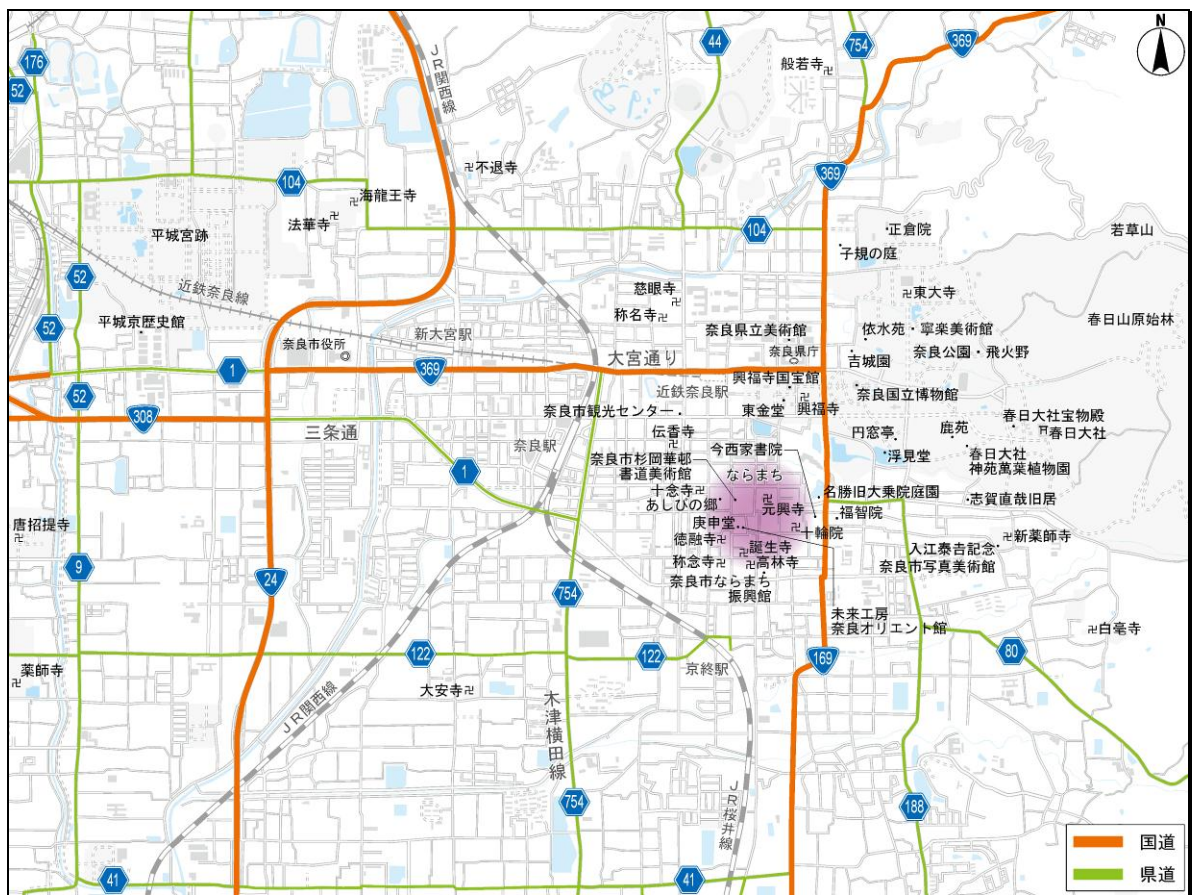
○ 奈良中心市街地は、奈良の持つ文化的・観光的価値を担う国際文化観光都市です。

奈良中心市街地は、戦後、日本文化のふるさととして多くの観光客を受け入れるようになり、奈良の持つ文化的・観光的価値を将来に生かしていく目的で、昭和 25 年には国際文化観光都市を宣言しています。

また、奈良中心市街地には、平成 10 年 12 月世界遺産条約に登録された「古都奈良の文化財（東大寺、興福寺、春日大社、春日山原始林、元興寺、平城宮跡など）」が立地しており、国際的な観光施設が集積しています。

※世界遺産条約（世界の文化遺産および自然遺産の保護に関する条約）

昭和 47 年の第 17 回ユネスコ総会において、「世界各地の文化遺産・自然遺産を世界の全ての人にとってかけがえのない宝物として守っていく」という考え方にに基づき、採択されています。



※ホームページのカテゴリーで、世界遺産、寺、庭園・公園、観光施設に該当するもののみ記載

※木簡型一日フリー乗車券の特典施設を記載

出典：奈良市観光協会公式ホームページ、木簡型一日フリー乗車券のチラシ

図 2.3 主要な観光資源の分布状況

2.1.3 自動車交通

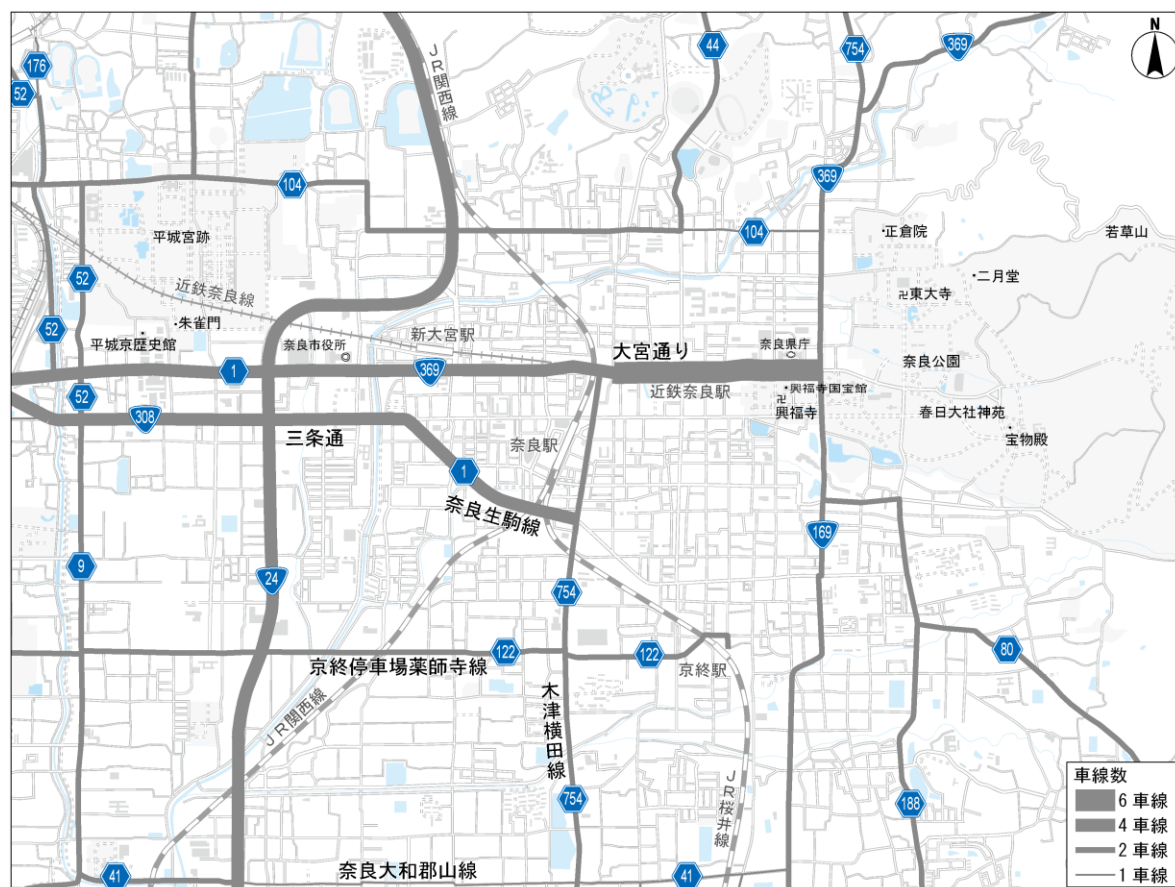
(1) 道路ネットワーク

○ 奈良中心市街地の道路は大半が2車線であり、4車線以上の道路は、国道24号、大宮通り、三条通のみとなっています。

奈良中心市街地の道路ネットワークは、主として、南北が国道24号および国道169号、東西が大宮通り（国道369号）および三条通（国道308号）、奈良生駒線（県道1号）で構築されています。

大宮通りおよび三条通などの東西方向の道路は、主に4車線道路（一部6車線区間が存在）となっていますが、南北方向の道路は、国道24号が4車線であるのを除き、その他の道路は2車線道路となっています。

なお、これらの路線を補完する道路として、木津横田線（県道754号）、京終停車場薬師寺線（県道122号）や奈良大和郡山線（県道41号）があります。



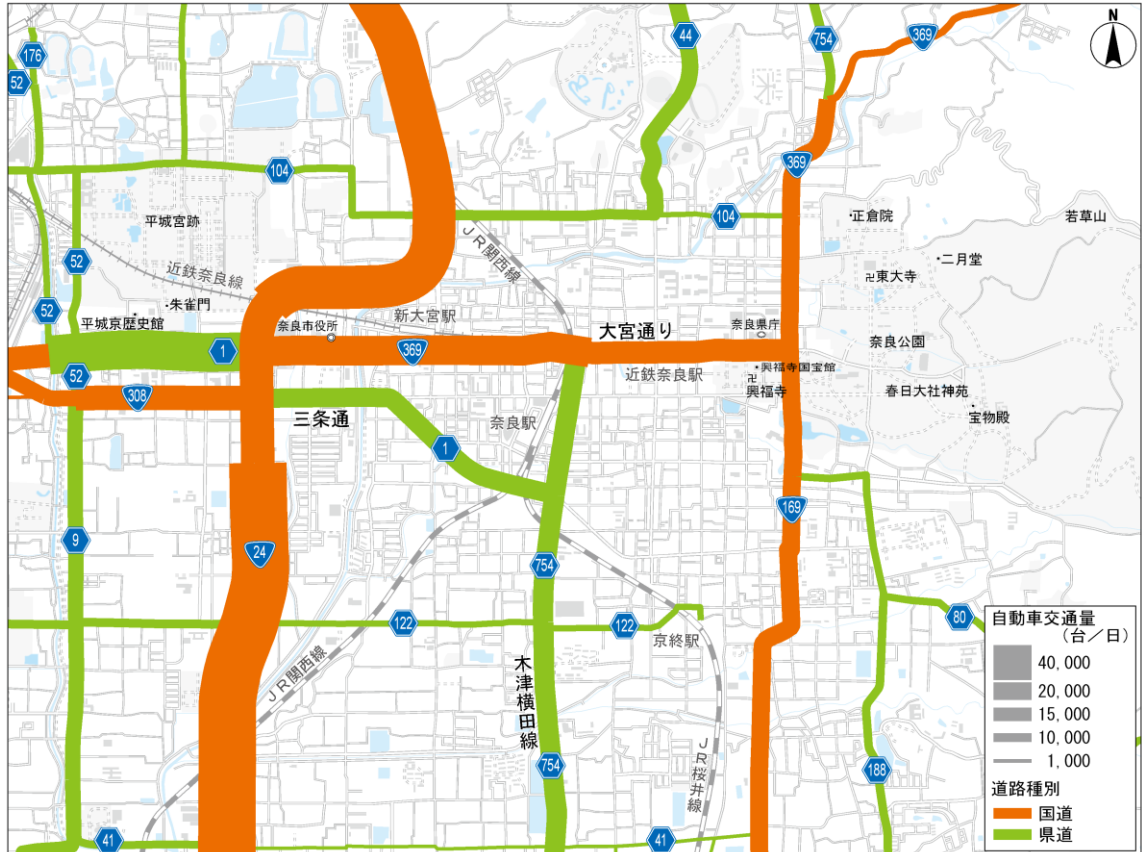
出典：平成22年道路交通センサス

図 2.4 道路ネットワークと車線数

(2) 自動車交通量

○ 奈良中心市街地の道路は、自動車交通量が多くなっています。

南北方向の道路である国道 24 号は 40,000 台/日以上と特に集中して多くなっています。東西方向の道路である大宮通りや三条通でも 20,000 台/日を上回る交通量が存在します。



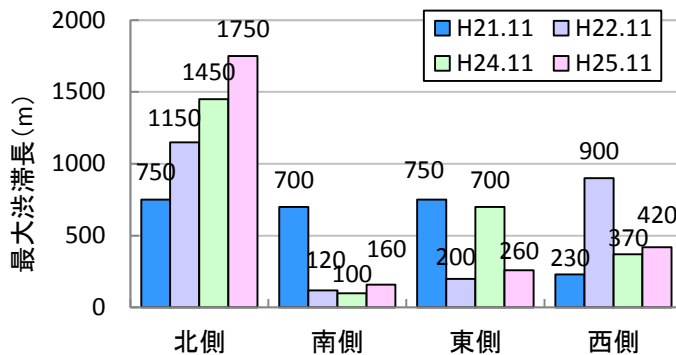
出典：平成 22 年道路交通センサス

図 2.5 自動車交通量（平日）

(3) 渋滞長

○ 県庁東交差点の東側の最大渋滞長は、減少傾向にあります。

県庁東交差点は、奈良公園と平城宮跡を東西に結ぶ大宮通りに位置しており、東西方向の最大渋滞長は、東側が 750m から 260m に減少し、西側については微増しています。



※県庁東交差点は、大宮通りと国道 369 号、国道 169 号との交差点

出典：休日の渋滞長調査

図 2.6 県庁東交差点における休日の方向別最大渋滞長

(4) 旅行速度

○ 奈良中心市街地には、平均旅行速度が 20km/h を下回る路線が存在します。

奈良中心市街地は、平日および休日ともに旅行速度が低く、平日の日常的な交通、休日の観光に関する交通ともに集中しています。また、旅行速度が 20km/h 未満の路線に加えて、国道 369 号の南行きでは 12 時間平均 10km/h 程度となるなど、特に旅行速度が低くなっています。

平日と休日では、全体的に休日の旅行速度が低くなっており、観光目的の自動車交通による影響と推測されます。

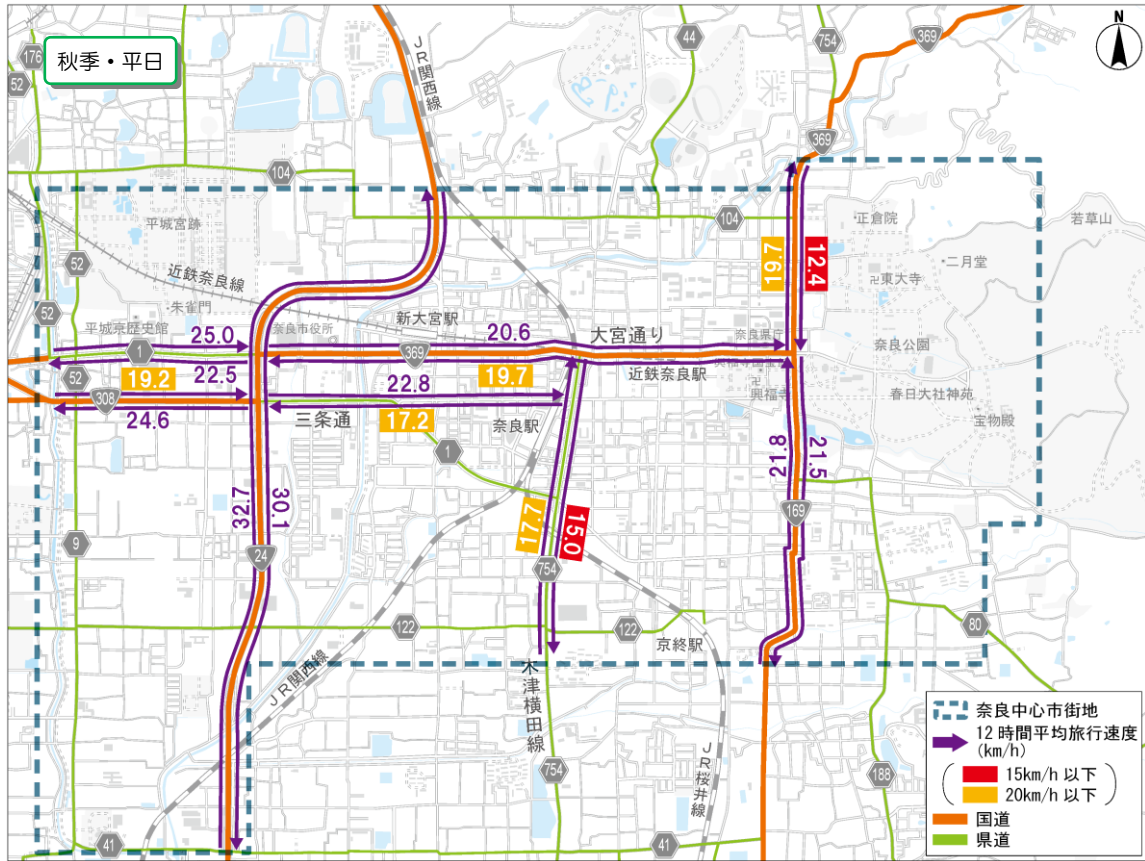
表 2.2 奈良中心市街地における平休別の平均旅行速度

路線名		方向	平日		休日	
			秋	春	秋	春
国道24号		北行き	32.7	31.9	31.2	29.5
		南行き	30.1	31.4	26.8	30.2
国道169号		北行き	21.8	21.6	20.3	22.1
		南行き	21.5	21.5	21.2	23.1
国道369号		北行き	19.7	20.3	19.2	21.4
		南行き	12.4	14.2	11.0	14.5
大宮通り	国道24号東	東行き	20.6	20.2	19.9	20.9
		西行き	19.7	21.2	15.2	18.0
	国道24号西	東行き	25.0	24.5	21.7	23.5
		西行き	22.5	23.8	19.2	20.7
三条通	国道24号東	東行き	22.8	22.1	23.5	23.2
		西行き	17.2	17.1	16.1	17.8
	国道24号西	東行き	19.2	19.7	19.0	19.2
		西行き	24.6	24.6	21.7	23.7
木津横田線		北行き	17.7	18.5	17.7	18.7
		南行き	15.0	16.8	14.8	17.1

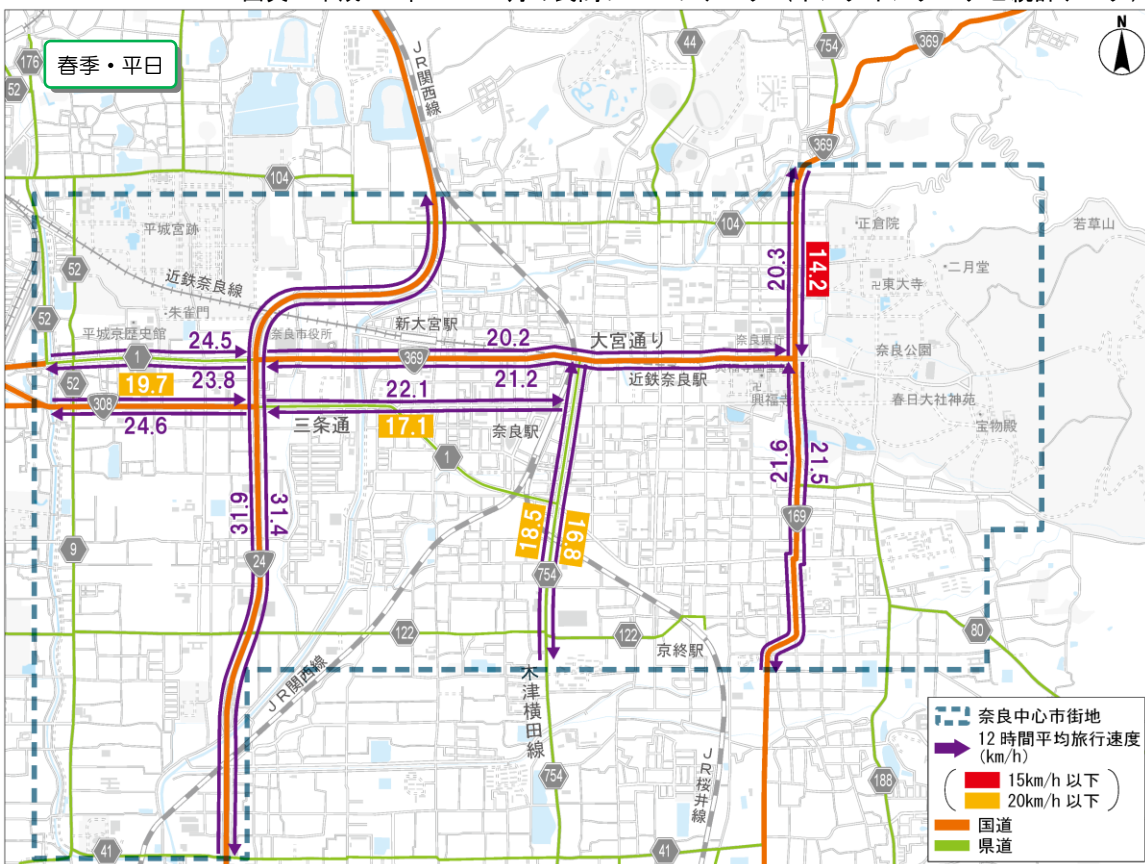
※15km/h 以下は赤色、20km/h 以下はオレンジ色で着色

※12 時間の平均旅行速度は、7 時～19 時の平均値

出典：平成 24 年 10・11 月、平成 25 年 4・5 月の民間プローブデータ（ホンダイインターナビ統計データ）

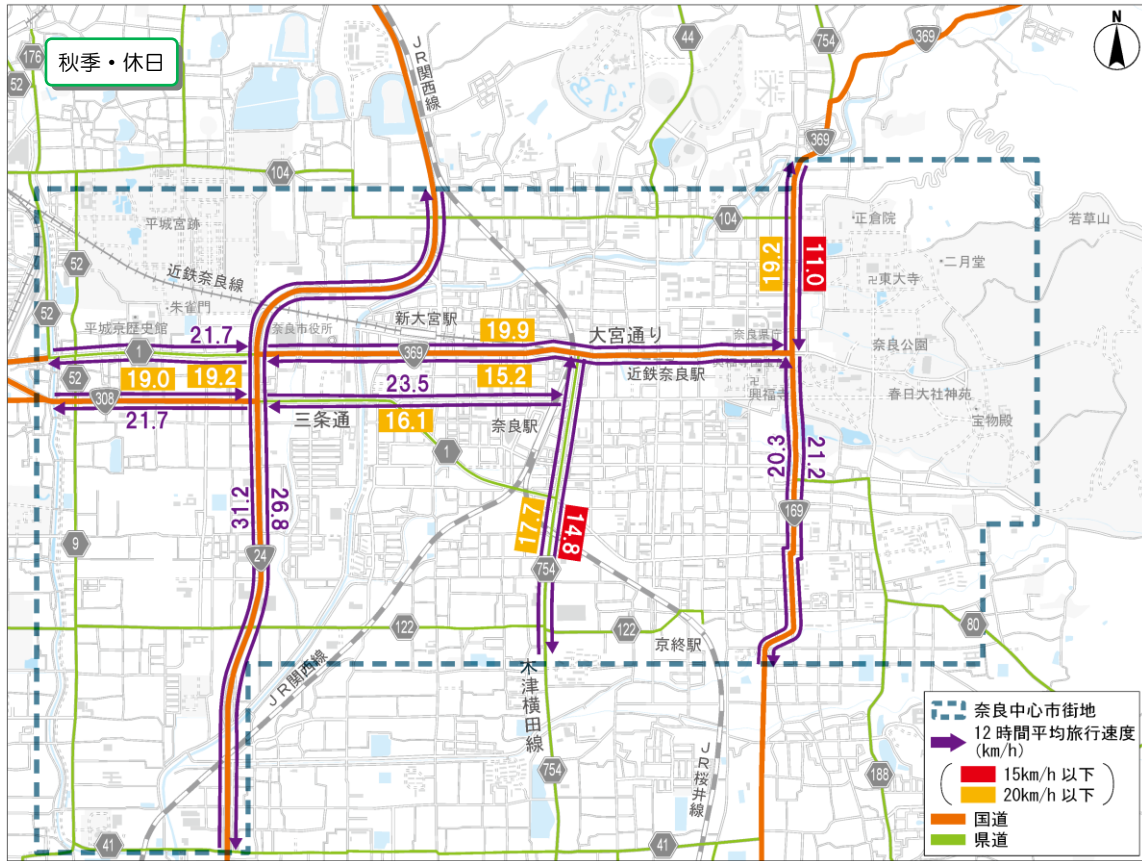


出典：平成 24 年 10・11 月の民間プローブデータ（ホンダイインターナビ統計データ）

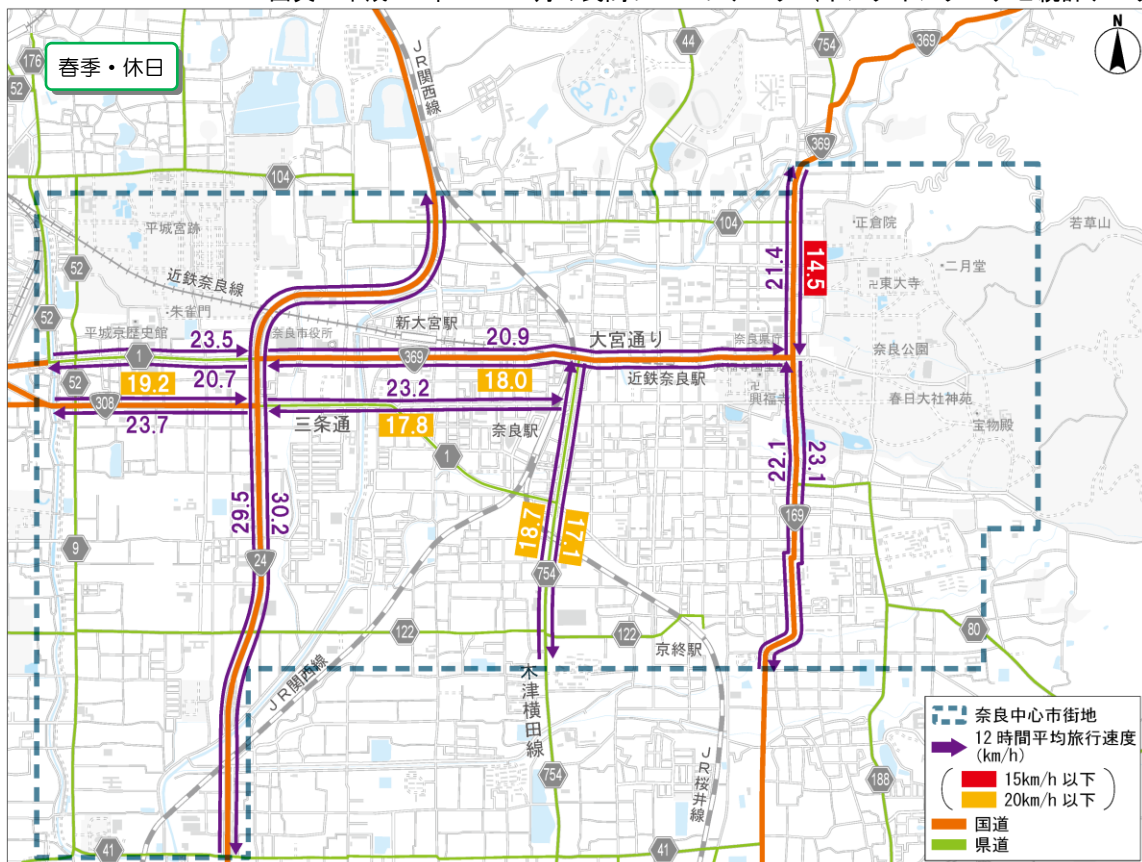


出典：平成 25 年 4・5 月の民間プローブデータ（ホンダイインターナビ統計データ）

図 2.7 奈良中心市街地における平日の平均旅行速度



出典：平成24年10・11月の民間プローブデータ（ホンダイインターナビ統計データ）



出典：平成25年4・5月の民間プローブデータ（ホンダイインターナビ統計データ）

図 2.8 奈良中心市街地における休日の平均旅行速度

2.1.4 市内の公共交通

(1) 公共交通の役割

○奈良中心市街地の公共交通は、日常交通として鉄道、路線バス、観光交通として、中心市街地内周遊バスが整備されています。

奈良中心市街地の公共交通は、鉄道、路線バス、中心市街地内周遊バス（ぐるっとバス、奈良観光周遊バス）に大別されます。奈良中心市街地の鉄道は JR 関西本線、桜井線、近鉄奈良線の 3 路線が運行しており、大阪方面や京都方面、県内の主要地域を結ぶ広域的な移動を担う交通手段として、主に利用されています。路線バスも鉄道と同様に広域的な移動手段として利用されているだけでなく、奈良中心市街地の移動手段としても利用されています。

一方で、鉄道駅と奈良公園や平城宮跡などの観光施設を結ぶバスとして、ぐるっとバスや奈良観光周遊バスがあり、両者とも主に観光目的に対応する交通手段となっています。

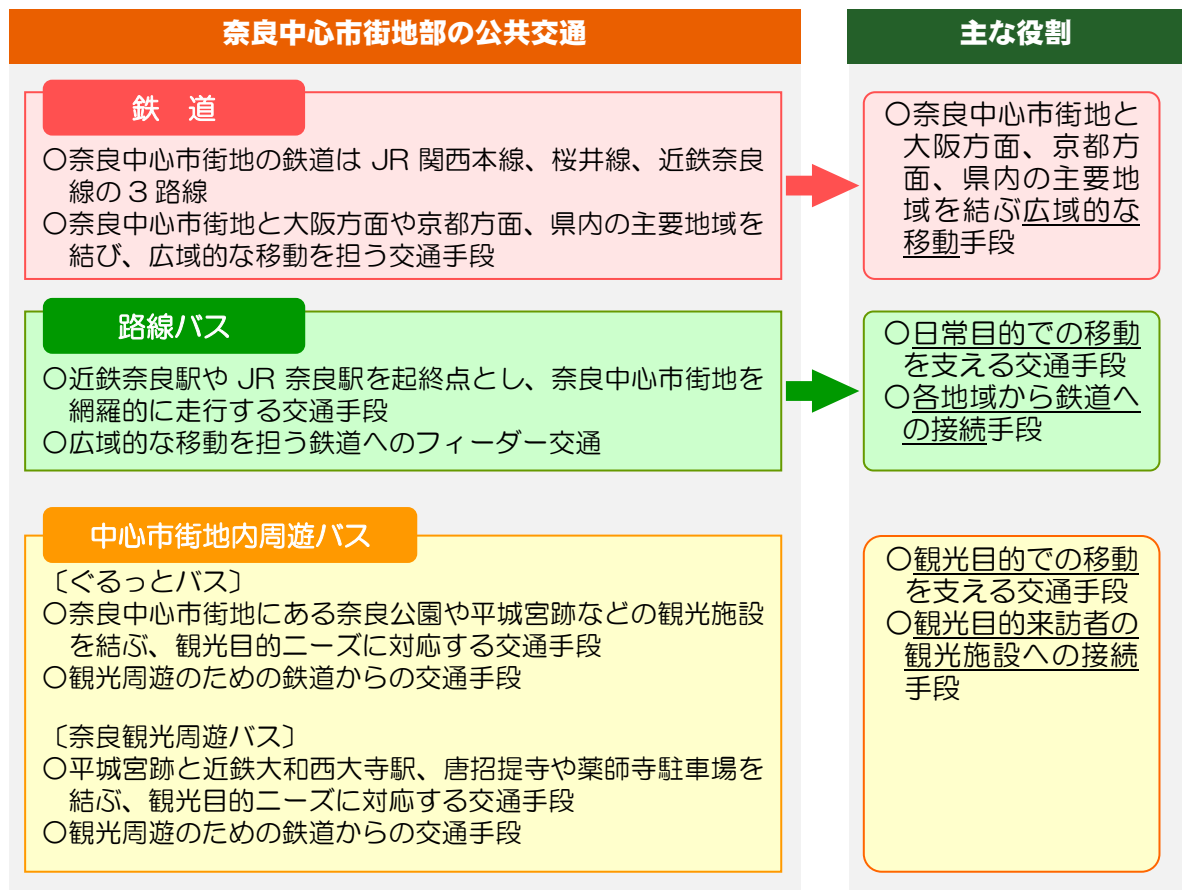


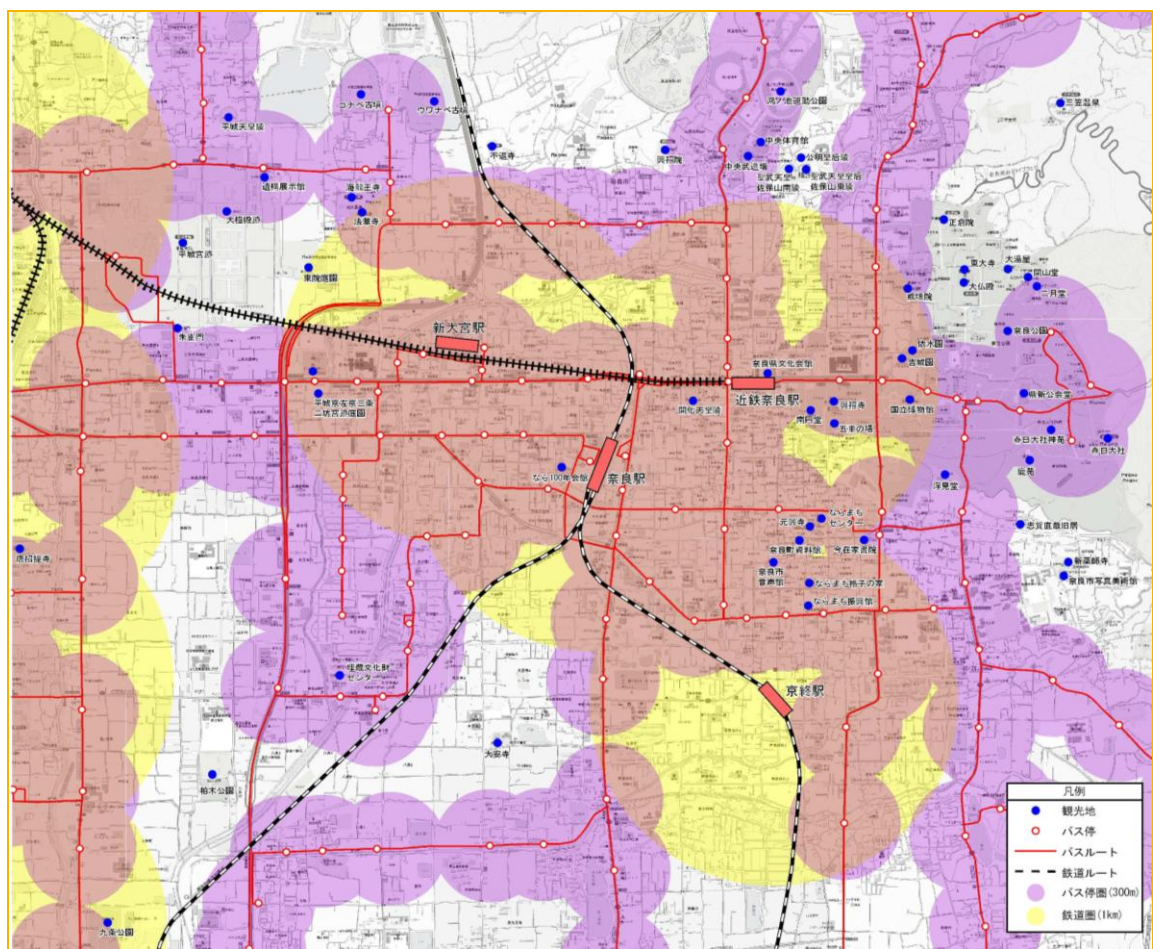
図 2.9 主な公共交通手段と役割

(2) 公共交通ネットワーク

○ 奈良中心市街地は、大半が公共交通利用圏域となっています。

奈良中心市街地内の鉄道駅は、JR 奈良駅、JR 京終駅、近鉄奈良駅、近鉄新大宮駅の合計 4 駅となっていますが、周辺にも近鉄大和西大寺駅、近鉄尼ヶ辻駅、近鉄西ノ京駅が存在します。バス路線は鉄道交通を補完する形式で、エリア内を網羅的に走行しています。

奈良中心市街地に立地する多くの観光施設は、そのほとんどが鉄道およびバス路線で構成される圏域内に位置し、公共交通を利用したアクセスが可能な状況にあります。



※鉄道勢圏は 1km、バス勢圏は 300m とする。

※バス勢圏は、路線バス、中心市街地内周遊バス（ぐるっとバス、奈良観光周遊バス）により整理

出典：奈良交通ホームページ（平成 25 年 12 月現在）

図 2.10 公共交通ネットワークと鉄道およびバスの圏域